

# 令和6年度熊本大学社会教育主事講習(資格付与講習)実施要項

国立大学法人熊本大学

## 1 目的

本講習は、社会教育法(昭和24年6月10日法律第207号)第9条の5の規定、社会教育主事講習等規程(昭和26年6月21日文科省令第12号)及び「社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令」(平成30年文科科学省令第5号)に基づき実施するもので、社会教育主事の資格を得ようとする者にその職務を遂行するために必要な専門的知識、技能を修得させ、社会教育主事となり得る資格を付与することを目的とする。

## 2 主催

文部科学省、国立大学法人熊本大学、熊本県教育委員会、大分県教育委員会、宮崎県教育委員会、鹿児島県教育委員会

## 3 実施機関

国立大学法人熊本大学

## 4 開催期間及び実施場所

開催期間: 令和6年7月16日(火)～8月7日(水)

実施場所: 熊本大学教育学部大会議室 (熊本市中央区黒髪2丁目40-1)

※上記開催期間以外に、オンデマンド配信期間を7月1日(月)から設定する。

※7月1日(月) 19:30～21:00に、オンライン講義(Zoom)を実施する。

※上記期間中に国立阿蘇青少年交流の家において3泊4日の合宿研修及び社会教育施設等で2泊3日の現地研修を行う。

※上記期間中に非常変災等が発生した場合は、休講、振替等を行う。また、一部の講習をZoomなどのオンラインアプリを用いて実施する。

## 5 受講資格及び受講定員

受講資格及び受講定員: 社会教育主事講習等規程第2条に該当する者 40名

※定員を上回る申請があった場合は、運営委員会で選考する。

## 6 講習を行う科目名、単位数、日程、講義内容・テーマ、配当時間数及び担当講師予定者の職氏名

別表1のとおり

## 7 日程(カレンダー全体日程・阿蘇合宿日程)及びカリキュラム概要

別紙のとおり

## 8 受講申込みの方法

受講申込者は、下記の書類を整え、住所地又は勤務地の熊本県、大分県、宮崎県及び鹿児島県の教育委員会に提出すること。※(1)～(3)は全員必須。(4)～(7)は、該当者のみ要提出。

(1) 受講申込書(様式1)

(2) 受講資格を証明できる書類(下記のうち、いずれか該当するもの1つを提出)

① 「卒業(修了)証書の写」又は「卒業(修了)証明書(原本)」

② 「教員免許状の写」又は教育委員会発行の「教育職員免許状授与証明書(原本)」

(複数の免許状を持つ場合は、主に使用する免許状のみでよい)

③ 所属長の証明する勤務証明書(様式2)

※ 卒業(修了)証書、又は教員免許状の写しを提出する場合は、所属長又は所轄長の原本証明を得ること。

※ 各証明書等記載の氏名と現在の氏名が異なる場合には、氏名変更が証明できる書類(例:運転免許証の裏側に旧姓表記があれば、当該免許証の両面の写し等)を併せて提出すること。

(3) 履歴書1通(給与事項を除いたもので上半身の写真を添付。様式3。)

(4) 推薦状(様式4)

所属自治体から推薦状の交付を受けた者のみ、提出すること。

※推薦状は各自治体の判断により、社会教育主事としての発令を予定している者(3年以内)、もしくは地域全体の社会教育の振興の中核を担う者に対して交付。

(5) 分割受講を希望する者

原則として全科目一括履修が望ましいが、都合により一部の科目のみ受講を希望する者は、予め、熊本大学社会共創推進課社会教育主事講習担当まで連絡の上、受講申込書(様式1)の「受講希望科目」欄に○印を記入し、提出すること。

また、分割受講希望者で、既に他機関等の社会教育主事講習において修得した科目がある者については、受講申込書(様式1)の「単位修得の認定を受けた科目及び単位」欄に記入の上、社会教育主事講習単位修得証明書(原本)を添付すること。

(6) 科目代替を希望する者

省令第7条第2項及び第3項の規定により、大学における科目の既修得単位あるいは文部科学大臣が定める学修をもって、講習の科目の単位として認定を希望する者は、受講申込書(様式1)の「単位修得の認定を希望する科目及び単位」欄に記入の上、下記の書類を添付すること。

① 単位修得認定申請書(様式5)

② 大学において既に修得した科目の単位修得証明書(原本)

③ 当該代替希望科目の内容や時間数、社会教育主事の資格取得のための相当科目であることが明記されている関係書類等(履修要項・シラバス・講義時間割等)の写し

※ 認定する単位は、社会教育主事の資格を出すことが認められている大学等の正規の単位として修得したものと及び文部科学大臣が別に定める学修に限る。

※ ①については、熊本大学で審査を行う。また、③については、文部科学大臣が別に定める学修についても相応のものを提出すること。

#### (7) 熊本大学内の駐車場利用について

熊本大学での講習期間中に自家用車による通学を希望する受講者は、別紙の履歴書(様式3)に記入すること。

### 9 講習の運営

講習の円滑な実施を図るため、社会教育主事講習運営委員会を置くものとする。同運営委員会に関する事項は別に定める。

### 10 受講者の決定

当該県の教育委員会から書類の送付のあった者のうちから、運営委員会の意見を聴取した上で実施機関が決定する。受講許可通知の原本は、県教育委員会を経由して本人に送付する。なお、それとは別途、令和6年6月中旬頃までに、受講可否に関する連絡をメールにて大学から本人宛に通知する。

### 11 単位修得の認定

必要な講習を受講し、かつ、論文、報告書その他による成績審査に合格した者に対して行う。

### 12 社会教育士について

令和2年度から社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令の公布により、新カリキュラム運用となったことに伴い、令和2年度以降の講習修了者は「社会教育士(講習)」を称することができる。

### 13 修了証書の授与

熊本大学長は、前項の規定により8単位を修得した者に対し、講習の修了証書を授与する。  
なお、修得単位が8単位に満たない者に対しては、修得した科目の単位修得証明書を交付する。

### 14 受講に要する経費

次の経費は受講者の負担とする。

#### (1) 旅費

#### (2) 宿泊費(以下の①及び②の金額は、受講決定後に通知する)

① 国立阿蘇青少年交流の家における合宿研修に伴う宿泊費(食事代を含む)として、講習初日の現地受付時に13,400円程度を徴収する。

② 現地研修の宿泊費及び諸経費として、15,000～20,000円程度(受入自治体で異なる)を徴収する。

※ 熊本大学くすのき会館内宿泊施設(シングルルーム・1泊 : 2,900円)を3部屋利用可能。宿泊希望者は、5月17日(金)までに熊本大学社会共創推進課社会教育主事講習担当までメールで直接連絡すること。宿泊希望者のうち、最も遠距離から参加する者を優先に決定する。

#### (3) テキスト代 4,620円(税込)

※ 次の指定テキストを各自購入

社会教育推進全国協議会(編)『社会教育・生涯学習ハンドブック』第9版、エイデル研究所、2017

## 15 個人情報の取扱いについて

提出された書類等に記載された氏名、住所、電話番号等の個人情報は、下記の目的に限り利用する。

- (1) 熊本大学における社会教育主事講習の実施運営に関する業務
- (2) 各県教育委員会において、履修認定等に必要と認める場合

## 16 その他

- (1) 本講習に関する問い合わせは、下記の担当連絡先に行うこと。
- (2) 受講にあたっては、公務等であっても欠席は認められないので注意すること。
- (3) 講習及びその準備期間中に非常変災等が発生した場合は、休講、振替等を行う。
- (4) 講習及び移動中の事故や病気等に備え、傷害保険に加入するなど各自の責任で万全を期すること。
- (5) 講習でのグループワーク、レポート作成等のため、ノートパソコンを各自持参すること。なお、受講者の所属機関等から貸与されたノートパソコンを持ち込む場合、所属機関のセキュリティの関係上使用できないこともあるため、留意すること。
- (6) 講習中のマスク着用は個人の判断とする。
- (7) 一部の講習をZoomなどのオンラインアプリを用いて実施する場合があるため、自宅等でのオンライン受講ができる環境を準備しておくこと。

**【担当】** 熊本大学 研究・社会連携部 社会共創推進課 社会教育主事講習担当

TEL: 096-342-2036 / FAX: 096-342-3239 / E-mail: [syakyo@jimu.kumamoto-u.ac.jp](mailto:syakyo@jimu.kumamoto-u.ac.jp)

講習ホームページ URL:

[https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu\\_sangakurenkei/sangakurenkei/chiikirenkei/syakyou/syakyosyuji](https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/sangakurenkei/chiikirenkei/syakyou/syakyosyuji)



※講習ホームページ QRコード

(別表1)

## 令和6年度熊本大学社会教育主事講習 科目名、単位数、講義内容・テーマ、講師等

※ プログラムは予定のため、変更されることがあります。ご了承ください。

科目名	単位数	月日	時間	時間数	内容・テーマ	講師予定者の職・氏名	実施方法
生涯学習概論	2	7/1～7/15の間	随時	1.5	社会教育・生涯学習振興施策の動向	文部科学省総合教育政策局地域学習推進課	オンデマンド講義
		7/1～7/15の間	随時	1.5	社会教育行政と社会教育主事の役割	熊本県・鹿児島県・宮崎県・大分県	オンデマンド講義
		7/1～7/15の間	随時	1.5	熊本市の公民館とまちづくり	熊本市社会教育主事	オンデマンド講義
		7/16 火	15:00-18:00	3.0	青少年教育施設における社会教育指導者の役割	国立阿蘇青少年交流の家専門職員	講義・演習
		7/16 火	19:00-20:30	1.5	社会教育・生涯学習の理念	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋	講義
		7/17 水	9:00-10:30	1.5	社会教育からみる子ども・若者	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋	講義
		7/17 水	10:30-12:00 13:00-14:30	3.0	自治公民館の制度と機能	諸塚村教育長 竹内 一久	講義
		7/17 水	14:30-17:30	3.0	離島・へき地における地域の自立と教育	鹿児島大学法文学部准教授 農中 至	講義
		7/24 水	10:25-11:55 12:55-14:25 14:40-16:10	4.5	社会教育における問いの技法	鹿児島大学法文学部准教授 酒井佑輔	講義
		7/29 月	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	社会教育・生涯学習の法と制度	名桜大学国際学群教授 嘉納 英明	講義
		7/29 月	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	義務教育未修了者の学習権と夜間中学	福岡大学人文学部教授 添田 祥史	講義
		7/30 火	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	社会教育の歴史	中村学園大学教育学部教授 圓入 智仁	講義
		7/30 火	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	社会教育の現代的意義	東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤	講義
8/7 水	12:55-14:25	1.5	熊本大学のリカレント教育と地域貢献	熊本大学副学長 金岡 省吾	講義		

生涯学習支援論	2	7/18	木	9:00-12:00	3.0	障害者の学びと生涯学習支援	熊本大学大学院教育学研究科准教授 黒山 竜太	講義
		7/18	木	13:00-16:00	3.0	生涯スポーツ・レクリエーション	熊本大学大学院教育学研究科教授 坂下 玲子	講義・演習
		7/18	木	16:00-17:30	3.0	学習支援の理論と実践	日本文理大学人間力育成センター長 高見 大介	講義
		7/19	金	9:00-10:30				
		7/19	金	10:30-12:00	1.5	学習プログラムの編成	日本文理大学人間力育成センター長 高見 大介	講義
		7/19	金	13:00-16:00	3.0	多様化する家庭と子ども支援	熊本大学大学院教育学研究科准教授 藤井 美保	講義
		7/22	月	10:25-11:55 12:55-14:25 14:40-16:10 16:25-17:55	6.0	参加型学習とファシリテーション	加留部貴行事務所 AN-BAI 代表 加留部 貴行	講義・演習
		7/31	水	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	ICTを活用した深い学びと地域づくりの実際	宮崎県教育庁高校教育課指導主事 上水 陽一	講義
		7/31	水	12:55-14:25	1.5	中高生の主体性を育む学習支援	全国高校生マイプロジェクト熊本県事務局 井下 友梨花	講義
		7/31	水	14:40-16:10 16:25-17:55	3.0	外国人の学習支援ネットワークの形成	鹿児島大学非常勤講師 山下 直子	講義
		8/1	木	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	ものづくり教育における学習支援と技能	熊本大学大学院教育学研究科教授 田口 浩継	講義

社会教育経営論	2	7/23 火	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	社会教育行政の 戦略と経営	北九州大学文学部教授 恒吉 紀寿	講義
		7/23 火	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	社会教育における 連携と協働	鹿児島大学法文学部教授 小栗 有子	講義
		8/1 木	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	町内会・自治会経 営の技法	鹿児島大学法文学部准教授 金子 満	講義
		8/2 金	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	自治体経営と社会 教育行政	松本大学総合経営学部准教授 向井 健	講義
		8/2 金	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	公民館の経営と計 画	那覇市立若狭公民館館長 宮城 潤	講義
		8/2 金	16:25-17:55	1.5	学習成果の活用 法	那覇市立若狭公民館館長 宮城 潤	講義
		8/5 月	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	地域博物館のまち づくり	御船町恐竜博物館学芸員 富澤 由規子	講義
		8/5 月	12:55-14:25	1.5	地域のネットワーク 形成と社会教育	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人 西米良集落支援従事者 富井 俊	講義
		8/5 月	14:40-16:10	1.5	社会教育の経営・ 広報戦略	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人 エンコミュニテラボ代表 山中 はるな	講義
		8/5 月	16:25-17:55	1.5	社会教育における 人づくり・まちづくり	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人	講義
		8/6 火	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	災害教育と地域マ ネジメント	東海大学文理融合学部准教授 安部 美和	講義
		8/6 火	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	女性の学習とエン パワーメント	福岡女子大学国際文理学部教授 野依 智子	講義

社会教育演習	2	7/1	月	19:30-21:00	1.5	研究レポートの目的と方法	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋	オンライン演習
		7/17	水	19:30-21:00	1.5	演習1	鹿児島大学法文学部准教授 農中 至	演習
		7/23	火	16:25-17:55	1.5	演習2	鹿児島大学法文学部教授 小栗 有子	演習
		7/29	月	16:25-17:55	1.5	演習3	福岡大学人文学部教授 添田 祥史	演習
		7/30	火	16:25-17:55	1.5	演習4	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋	演習
		8/1	木	16:25-17:55	1.5	演習5	鹿児島大学法文学部准教授 金子 満	演習
		7/24	水	8:40-10:10	1.5	現地研修事前指導	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋	演習
		7/25	木	14:00-17:00	3.0	現地研修	各県社会教育施設の社会教育主事等(4自治体)	演習
		7/26	金	9:00-12:00 13:00-17:00	7.0			
		7/27	土	9:00-12:00	3.0			
		8/3	土	9:00-12:00 13:00-16:00	6.0	公民館活動体験	熊本市内公民館の社会教育主事等(6館)	演習
		8/7	水	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	現地研修報告会	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋 熊本大学大学院教育学研究科教授 坂下 玲子	演習

生涯学習概論:34.5時間、生涯学習支援論:30時間、社会教育経営論:30時間、社会教育演習:32.5時間

総時間数:127時間